

◎ 2021年度同門会 若手外科医賞



医療法人社団昂会 湖東記念病院 心臓血管外科

宮下 史寛 (平成 24 年卒)

この度は若手外科医賞を頂き、非常に嬉しく、選考して頂いた方々にお礼申し上げます。今回評価して頂いたのは、2021年に Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 誌に掲載されました論文「Fumihiro Miyashita, Takeshi Kinoshita, Tomoaki Suzuki, and Tohru Asai. Respiratory failure after open descending aortic aneurysm repair: Risk factors and outcomes」になります。以前から、胸部下行大動脈瘤に対する後側方切開を用いた人工血管置換術は、分離肺換気を用いるため、術後呼吸合併症が多い印象がありました。この分野において、胸腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術の術後呼吸不全に関する論文はいくつか報告があるものの、単独の下行大動脈瘤に対する人工血管置換術の報告は乏しく、今回の報告に至るきっかけとなりました。調べてみると、実際に呼吸機能検査における一秒率の低下が術後呼吸不全のリスク因子となっていることが判明し、感覚的に関連がありそうな項目が統計学的な見地からも証明できたことに感動しました。今回の執筆にあたり指導して頂いた先生方はもちろんのこと、英文校正にあたり尽力して頂いた滋賀医科大学外科学講座スタッフの Piers Nigel Vigers 氏には書中をもって厚く御礼申し上げます。

臨床で日々手術を行っていく中で、さまざまな疑問がわき、その多くがまだ科学的に解明されていないものだと感じる事がよくあります。それを疑問のままで終わらせるのではなく、これからも科学的に検討し、その結果を日々の臨床にいかしていくことが重要だと考えています。今回の受賞を励みにこれからも論文で発表できるような臨床研究を続けていきたいと考えています。

臨床医としての能力を磨いていくことはもちろん、今回の論文執筆の経験をいかして研究や教育にも力を入れていきたいと考えています。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。